

# 第 16 回アジア原子力協力フォーラム(FNCA) 大臣級会合の結果概要について

平成 27 年 12 月 10 日

内閣府 原子力政策担当室

1. 開催日時 : 2015年12月8日(火) 10:45~16:30  
(12月7日(月)に上級行政官会合を開催)
2. 開催場所 : 三田共用会議所(東京都港区)
3. 主催者 : 内閣府、原子力委員会
4. 参加国 : オーストラリア、バングラデシュ、カザフスタン、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム(中国は欠席。各国代表者は別添1を参照)。その他、OECD/NEA(経済協力開発機構・原子力機関)が参加した。
5. 我が国の主な出席者 :

島尻 安伊子	内閣府特命担当大臣(科学技術政策)
松本 文明	内閣府副大臣
岡 芳明	原子力委員会委員長
阿部 信泰	原子力委員会委員
中西 友子	原子力委員会委員
中西 宏典	内閣府大臣官房審議官
和田 智明	FNCA日本コーディネータ 他
6. 会議の概要 :

FNCA 大臣級会合は、参加国の原子力科学担当大臣級が、原子力技術の平和利用に関する地域協力推進のため、年に一度、一堂に会して政策対話を行うもの。今次会合では、本年度開催の国連サミットや国連気候変動枠組み条約第 21 回締約国会議(COP21)を踏まえて、「気候変動と原子力の役割」をテーマに、FNCA の気候変動対策へ貢献、及び FNCA の今後の更なる発展に向けた改革について討議をし、結果を共同コミュニケとして採択した。(プログラムは別添2を参照)

## (1) 歓迎挨拶

島尻安伊子内閣府特命担当大臣が歓迎挨拶を行い、その中で、FNCA は発足以来 15 年間の活動成果を以て加盟各国の社会的・経済的発展に貢献したことを評価しつつ、電力需要の伸びが著しいアジア地域における原子力安全分野での協力の重要性を強調し、更に

OECD/NEA との今後の協力をも念頭に置いた FNCA の原子力分野での協力活動の拡大を呼びかけた。

(2) 基調講演

今次会合では、OECD/NEA マグウッド事務局長を招聘し、同氏より「OECD/NEA との協力と発展について」と題する基調講演がなされた。気候変動緩和策としての原子力エネルギーの重要性を解説し、原子力基盤整備の促進に向けて OECD/NEA が FNCA に提供できる様々な支援策が提案された。

(3) カントリーレポート

各国代表より、原子力を含むエネルギー政策、放射線利用研究による成果等が紹介された。

(4) 円卓討議

「気候変動と原子力の役割」をテーマに、原子力科学技術による気候変動緩和・適応への貢献策を討議し、3 分野(気候変動科学、緩和、適応の各分野)における行動計画を策定した。引き続き、「FNCA の改革」をテーマに、経済発展著しい参加各国のニーズに則した FNCA 活動を展開すべく、FNCA 会合の改革案を討議し、この内容について共同コミュニケ(別添3)を採択した。

(5) 閉会挨拶

松本内閣府副大臣より、2016年の FNCA 大臣級会合の日本開催を提案し、参加国の同意を得た。更に、カザフスタンより2017年の FNCA 大臣級会合の同国開催を提案し、参加国の同意を得た。最後に、松本内閣府副大臣が閉会挨拶を行い、今次会合が各国の出席を得て成功裡に終了したことへの謝辞を述べた。

7. 共同コミュニケの概要 (共同コミュニケ全文は別添3及び別添4を参照) :

- 2017 年に原子力科学・技術を活用した新たな気候変動科学プロジェクトを開始する。
- 持続可能な開発のため、FNCA原子力適応プロジェクト、例えば、気候変動適応策として貢献可能な放射線育種プロジェクトを一層推進する。
- 利害関係者の関与や一般社会とのコミュニケーション促進を通じた、原子力技術に対する信頼構築に向けた関連活動及び国際規約準拠を考慮に入れた原子力損害賠償補償のための国内枠組を強化する。
- FNCA の主要な役割の強化や協力を通じた互惠のため、IAEA や OECD/NEA のような国際機関との連携を促進する。
- FNCA が参加国のニーズに速やかに応えていくために、FNCA の業務の効率・効果向上の必要性から FNCA活動の運用の在り方を改善する。
- 諸活動のための原資の多様化とプロジェクト/テーマの成果の一層の活用を促す。

以上

2015年12月8日(火)開催 第16回FNCA(アジア原子力協力フォーラム)参加各国代表

	国名	日本語氏名	日本語役職
1	Australia	ポール・モーリス・ジョーンズ	オーストラリア原子力科学技術機構(ANSTO) 原子力安全、政府、国際関係統括マネージャー
2	Bangladesh	モハメド・サイドウル・イスラム	バングラデシュ原子力委員会(BAEC) メンバー(バイオサイエンス)
3	China	欠 席	
4	Indonesia	ジャロット・スリスティオ・ウイスヌブロト	インドネシア原子力庁(BATAN)長官
5	Japan	島尻 安伊子	内閣府特命担当大臣(科学技術政策)
6	Kazakhstan	エルラン・G・バトルベコフ	カザフスタン国立原子力研究所(NNC) 総裁
7	Korea	イ・チュンウオン	韓国未来創造科学部(MSIP) 宇宙原子力巨大科学局 副局長
8	Malaysia	マディウス・タンガウ	マレーシア科学技術革新省(MOSTI) 大臣
9	Mongolia	マンライジャフ・ガンアジャフ	モンゴル原子力委員会(NEC) 事務局長
10	Philippines	アメリア・P・グエバラ	フィリピン科学技術省 研究開発担当副大臣
11	Thailand	ハナロン・シャムスブ	タイ原子力技術研究所(TINT) 所長代理
12	Vietnam	The Hon. Mr. チュウ・ゴック・アン	ベトナム科学技術省(MOST) 副大臣

## アジア原子力協力フォーラム(FNCA) 第16回大臣級会合アジェンダ

日 程 : 2015年12月8日(火)  
 場 所 : 東京 三田共用会議所 国際会議室  
 主 催 : 内閣府、原子力委員会

《前日 17:30 - 19:30 レセプション》

10:15 - 10:45 参加登録

10:45 - 11:05 **セッション1:開会セッション(20分)**

プレス入室

セッション議長: 岡 芳明 原子力委員会委員長

- 1) 開会宣言: セッション議長
- 2) 参加者自己紹介
- 3) アジェンダ採択
- 4) 上級行政官会合結果報告: 中西宏典 内閣府大臣官房審議官
- 5) 歓迎発言: 島尻安伊子 内閣府特命担当大臣(科学技術政策)

11:05 - 11:15 集合写真(10分)

11:15 - 11:45 **セッション2:基調講演 (30分)**

セッション議長: 岡 芳明 原子力委員会委員長

「OECD/NEAとの協力と発展について」:  
 DG William D. Magwood, IV, OECD/NEA

11:45 - 12:30 **セッション3:国別報告(60分) 前半:9か国分(45分)**

セッション議長:(フィリピン) 各国発表:5分×9か国

12:30 - 13:30 **内閣府主催昼食会**

13:30 - 13:45 **セッション3:国別報告(60分) 後半:3か国分(15分)**

セッション議長:(フィリピン) 各国発表:5分×3か国

13:45 - 14:05 **セッション4:FNCA 活動報告(20分)**

セッション議長:(ベトナム)

第16回コーディネーター会合及びプロジェクト進捗報告:和田智明 日本コーディネーター

14:05 - 14:55 **セッション5:円卓討議:気候変動と原子力技術の役割に関する新しいアクティビティについて(50分)**

セッション議長: 中西宏典 内閣府大臣官房審議官  
 討議、まとめ

14:55 - 15:15 コーヒーブレイク(20分)

15:15 - 15:55 **セッション6:上級行政官会議の報告に関する討議; FNCAの改革(40分)**

セッション議長: 中西宏典 内閣府大臣官房審議官、討議、まとめ

15:55 - 16:30 **セッション 7: 共同コミュニケに関する討議(35分)**

セッション議長: オーストラリア、討議及び採択

16:30 - 16:45 **セッション 8: 閉会セッション(15分)**

プレス入室

セッション議長: 岡 芳明 原子力委員会委員長

- 1) 第 17 回コーディネーター会合・検討パネル案紹介: 和田智明 日本コーディネーター
- 2) 第 17 回、18 回大臣級会合開催国発言: 第 17 回 松本文明 内閣府副大臣 第 18 回 カザフスタン
- 3) 閉会宣言: 松本文明 内閣府副大臣

December 8, 2015

Forum for Nuclear Cooperation in Asia (FNCA)  
Joint Communiqués  
On the New Direction of the FNCA

We, the Heads of delegation of countries participating in the FNCA - Australia, People's Republic of Bangladesh, the People's Republic of China, the Republic of Indonesia, Japan, the Republic of Kazakhstan, the Republic of Korea, Malaysia, Mongolia, The Republic of the Philippines, the Kingdom of Thailand and the Socialist Republic of Vietnam,

Recalling that the FNCA's objective is to promote social and economic development through active regional partnership for the peaceful and safe utilisation of nuclear technology,

Recalling that the FNCA adopted the resolution at the 15<sup>th</sup> Ministerial-Level Meeting (MLM), encouraging FNCA Ministerial Level leadership and the Coordinators' active contribution for designing the future direction and program of the FNCA,

Recalling that the FNCA recognised at the 16<sup>th</sup> Coordinators Meeting that the time has come for the FNCA to start discussions on a new direction,

Focusing on the fact that the use of nuclear power is still expected to grow in the world, especially in Asia, in the upcoming several decades due to rapid economic growth and increasing concern about climate change,

Recognising the fact that nuclear science and technology has been making contributions sustainable development in a wide range of areas such as medical care, food and agriculture as well as water management,

Appreciating the role of the IAEA/RCA as an effective tool for the promotion and coordination of research and development activities to respond to the needs for national development through utilizing regional experiences, expertise and resources in nuclear applications,

Welcoming the appeal by the OECD/NEA Director General for possible new collaboration between the NEA and the FNCA made

at this MLM, aiming at the enhancement of the collaboration of OECD/NEA with Asian countries,

Decided to work toward:

1. Action Item 1. Themes and activities to be promoted

- Launching a new research project on climate change utilizing nuclear science and technology in 2017.
- Further advancing FNCA's nuclear infrastructure projects/themes related to human resources development and nuclear safety, taking into account the role of nuclear energy in mitigating climate change.
- Further advancing FNCA's nuclear application projects, such as mutation breeding project which could contribute as an adaptive response to climate change, for sustainable development.
- Further advancing the radiation oncology project which can bring common benefits in the region.
- Enhancing the activities related to building trust toward nuclear technology through stakeholder engagement and improved communication with public, and enhancing national regimes for the compensation of nuclear damage, including consideration of adherence to the international conventions.

2. Action Item 2. Promoting cooperation with international organizations such as IAEA and OECD/NEA, for enhancing FNCA's key role and for mutually benefitting from the strength of both those parties.

3. Action Item 3. Improvement of the management of FNCA activities, considering urgent necessity of enhancing effectiveness and efficiency of the FNCA work in order to meet the needs of member countries.

4. Action Item 4. Diversification of financial resources and further encouragement of the utilization of the results of the projects/themes.

## 共同コミュニケ（仮訳）

2015年12月8日

### アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の新たな役割に関する共同声明

我々、FNCA 参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することが FNCA の目的であることを想起し、

「第 15 回 FNCA 大臣級会合」において、FNCA は、各国大臣のリーダーシップ及びコーディネーターの積極的参画により、FNCA 創設以降 15 年間の活動成果をさらに進展させる旨決議したことを想起し、

「第 16 回 FNCA コーディネーター会合」において、FNCA が新たな活動について討議を開始する時期が来たとの認識を共有したことを想起し、

原子力発電の利用が世界的に拡大し続けると見込まれ、とりわけアジアにおいては急速な経済成長や気候変動に対する関心の増加により、今後、数十年に亘り続くという事実に着目し、

原子力科学技術は医療、食糧、農業、水管理などの広範な社会経済開発分野で貢献している事実を認識し、

IAEA/原子力科学技術に関する研究、開発及び訓練のための地域協力協定(RCA)は地域の経験と専門性、資源の活用を通じ国家課題に応える研究開発活動の促進と調整の有力なツールであることを歓迎し、

OECD/NEA 事務局長がアジア各国と OECD/NEA の関係強化を目指し、本大臣級会合においてFNCAと OECD/NEA 間の新たに可能な協力を呼びかけたことを歓迎し、

以下のとおり活動することを決定した。

1. 行動項目1. 促進すべきテーマと活動

- ・2017 年に原子力科学と技術を活用した新たな気候変動プロジェクトを開始する。
- ・気候変動の緩和における原子力の役割に鑑み、人材開発及び原子力安全に関連したFNCAの原子力基盤プロジェクト/テーマを一層推進する。
- ・持続可能な開発のため、FNCA原子力適応プロジェクト、例えば、気候変動適応策として貢献可能な放射線育種プロジェクトを一層推進する。
- ・アジア地域に共通に裨益する放射線治療プロジェクトを一層推進する。
- ・利害関係者の関与や一般社会とのコミュニケーション促進を通じた、原子力技術に対する信頼構築に向けた関連活動及び国際規約準拠を考慮に入れた原子力損害賠償補償のための国内枠組を強化する。

2. 行動項目2. FNCA の主要な役割の強化や協力を通じた互恵のため、IAEA や OECD/NEA のような国際機関との連携を促進する。

3. 行動項目3. FNCA が参加国のニーズに速やかに応えていくために、FNCA の業務の効率・効果向上の必要性から FNCA活動の運営を改善する。

4. 行動項目4.

(活動)原資の多様化とプロジェクト/テーマの成果の一層の活用を促す。